

本機関誌の偶数号の編集はいつも8月の真夏である。特に今夏は、長期予報が大はずれし猛暑日が続いている。8月5日には東京も36.1度を記録した。そんな折、路地裏の駐車場に黒と茶の斑模様の野良猫が居着いた。痩せているが人懐っこい。そこで、冷房の効いた部屋で保護し、えさをやっている。居心地がいいのか、仕事もおとなしくしている。調べるとサビ猫といって、三毛猫と同様ほとんどが雌だそう。猫の世話が今年の暑さ対策である。

労働力の不足感が強まっている。6月の全国の有効求人倍率（季節調整値）は前月比0.01ポイント上昇し1.10倍となり、19カ月連続で改善した。有効求人倍率は公共職業安定所での求職者1人当たりの求人数であり、倍率が1を超えるということは、企業が思うようには採用できないということだ。

物流業界でも、顕著にその状況が現れてきている。輸送業務の引き合いはそこそこ回復してきたが、運ぶためのドライバーが手当てできないといった問題が発生している。『物流問題研究62号（2014年夏）』の特集の部では、その具体的な現状や対応策を紹介していただいた。この場を借りて、お礼を申し上げたい。

本誌は本学ホームページに掲載しており、誰でも閲覧できる。「知の共有」の場として少しでも役立てばと考えている。

なお、本誌の掲載論文ならびにロジスティクス産学連携コンソーシアムのタイムリーな活動情報も、ホームページにも掲載しており、是非お立ち寄りいただければ幸甚である。

(<http://www.rku.ac.jp/distribution/index.html>)

(小野)